



創樹

題字は 田中蘆雪さん

発行元
社会福祉法人創樹会
広島県福山市水呑町7187番地1
TEL (084)956-0255
FAX (084)956-5749

三月十一日東日本大震災から十年を迎え全国各地での追悼の祈りの中、広島市では今年一番の桜の開花宣言がなされ、コロナ禍で疲弊している私たちの心の中にほんの僅かですが心と瞬間がもたらされました。学園内の桜は三月十七日に開花し二十六日には満開を迎えましたが、今年もお花見や新旧の歓送迎会、創樹祭(四月二十九日昭和の日)を中止としました。大変残念です。

既に二月十八日には医療関係者に新型コロナウイルス感染症予防ワクチン先行接種が始まり、三月二十一日には緊急事態宣言も解除されました。一年間辛抱した行事の中止や縮小、外出の自粛が一日も早く緩和され、利用される方たちの生活にも活気が戻ってくることを願っていますが、新型コロナウイルスと変異株の感染予防対策は引き続き必要です。新しい日常に確かな安心・安全を確立するために三密の回避、マスク着用、手洗い、手指消毒、換気の徹底など「感染しない、させない」の徹底を続けなければなりません。園内外での会議や研修もオンラインとなりweb環境の整備が求められる時代となりました。また、最近は大平洋側の地震が多く、南海トラフ巨大地震や芸予地震、豪雨災害にもより強い防災意識を持ち、避難、減災に向け日常的に準備・訓練に努めなければなりません。特に多くの事業所や建物のある当法人では山火事を含め火災の発生も要注意です。

三月二十五日には、東京五輪の聖火が復興五輪と

桜咲いたが創樹祭中止：残念!!

して福島県を出発しました。しかし、首都圏をはじめ全国的に新型コロナウイルス感染のリバウンドが始まり、第四波の襲来が現実味を帯びてきました。特に最近では若い人たちが幼い子供たちへの感染が広がり、回復後の重い後遺症に苦しむ姿やワクチン接種による副反応が報告され、ワクチン接種への期待感が薄められる事態も始めています。このような時代を背負う我々、重い障がいのある人たちが高齢になった人たちに寄り添うエッセンシャルワーカーとして、その使命を認識する者たちには切れることのない緊張感がさらに大きく感じられる年であることは間違いないように思われます。

昨年からあゆみ苑成人寮の人たちの活動で、新しくなった水呑八幡神社のトイレ清掃を受け持ち、町内の皆様に喜ばれていますし、今年度は新規採用者九名と正規登用者四名を迎えることができました。自然災害への備えや新型コロナウイルス感染症防止対策に力点を置き、働きやすい職場づくりや新規人材確保への発信力の強化などを強く進める年になりたいと思います。

皆様の変わらないご協力とご支援を心からお願い申し上げます。

二〇二一(令和三)年四月一日

社会福祉法人創樹会

理事長 西山堅太郎

ぶちええね!

ろっぽうのさくら、春爛漫!

今年も創樹会では、綺麗な桜が咲きました。コロナ禍ということもありなかなかお花見も難しい情勢が続きますが、写真で少しでもお花見気分を感じて頂けたら幸いです。今年度もよろしくお願いします。



長い間、本当にありがとうございました

今年度、長い間創樹会を支え、基盤となって頂いていた、3名の職員が定年退職されました。寂しいことですが、今まで教えて頂いたことを引き継ぎ、これからも創樹会がますます発展していけるよう頑張っていきたいと思います。今まで本当にありがとうございました。



あとがき

広島県は全国のトップを切って3月11日に桜が開花し、いち早く春が訪れました。毎日、新型コロナウイルスのニュースが流れ、まだ自粛ムードが抜けません。1日も早い終息を願うばかりです。新年度も「創樹」では法人での取り組みや各部署での活動等をご紹介します。(編集スタッフ一同)

社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp>) ☒ fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp)

事業所一覧
福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)(日中一時支援事業)
あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)
サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)
サポートセンター友の家(共同生活援助事業)
サポートセンターかなで(日中サービス支援型共同生活援助)(短期入所)
さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)
ヘルパーステーションあしすと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)
ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス)(日中一時支援事業)(障がい児療育等支援事業)
ふぁんたす(放課後等デイサービス)
相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)
さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)

サポートセンター友の家

管理者 藤井 豊治



例年と変わらずサポートセンター友の家の周りでは梅、杏、桜と順に咲き春を演出しています。

昨年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、社会全体がこれまでの習慣の変更を迫られた年だったと思います。サポートセンター友の家にいても月一回の「ふりうりの集い」や研修旅行などの行事の中止だけでなく、利用者自身での週末の買い物、制限、帰省の制限をせざるを得ない状況もありました。「新しい生活様式」簡単な言葉ですが、長年習慣は余程意識しないと思えられませんが、例えば、店舗への入店時のアルコール消毒を何度も忘れてしまっています。気づいてさえいません。どうすれば忘れないか？どうすれば忘れていても行動できるのか？私自身は？グループホームを利用している方は？一人でできるように。忘れないようにするために？地域の方たちが当たり前に行っていることを、グループホームを利用している方たちが習慣化するまで丁寧に支援し続ける。長い道のりのスタートです。

今年度の、サポートセンター友の家事業計画の重点



ヘルパーステーションあしと

管理者 黒田 将義

散歩の支援が多くなったこともあり、例年より早く花や新芽を見かけるように感じます。暖かな季節とは裏腹に、私たちの生活は新型コロナウイルスの脅威に苛まれながらの生活が続いています。

昨年度、ヘルパーステーションあしとでは、利用される方々の望まれるサービスをを行うことが難しく、三密を防ぐための情報収集や、感染対策に頭を抱える日々でした。感染の不安や変更を伝えることの難しさから、支援を見合わせる事が多くあり、利用される皆様には、大変ご迷惑をお掛けしているところでもあります。

私たちヘルパーは、利用される方のご自宅の中で支援するため、訪問した先で感染を広げてしまうことを危惧し、密接な介助を行う身体介護では、ヘルパーから直接、利用される方に感染させてしまうのではないかと、いつも不安の中で支援しております。少しでも感染のリスクを下げるために、消毒やフェイスシールドなどの物品の整備やスタッフの健康管理と行動の自粛、また福山市内にPCRセンターが開設されると、毎月、積極的に利用していただき、感染の不安を払拭でき



きるわけではありません。今、私たちができる支援を考えると、疫学的な観点からの知識や最新の情報、社会的な風潮など、幅広い視野で判断することが求められます。各市町、各事業所で対応が違つ中で、正しい選択を求めていることは容易ではありません。しかし、利用される方々の声に耳を傾け、思いに寄り添い、信頼される事業所としての答えを導き出せるように努力していきたいと考えています。

いつもの店員さんや街でよく声をかけてくださるご夫婦、路線バスの運転手さんなど、馴染みの皆さんに挨拶できる日まで、もう少し時間がかかるかもしれませんが、それまでは、今しかできない支援方法で、新しい馴染みになっていただく方々を開拓し、コロナ禍であつたとしても地域での暮らしが安心できるように、今できる支援をさせていただきます。



すてつぷ・ONEすてつぷ・ふぁんだす・あさか

管理者 中常 克彦

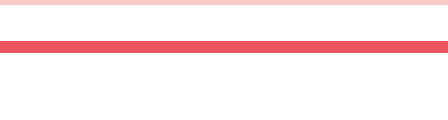


昨年度は、緊急事態宣言からの臨時休校、関係者のPCR検査での急遽の閉所等、子ども達にとっても、保護者の皆さまにとっても、私たちの持ちにくい状況が続いた一年でした。

その状況で受け入れを継続していくために、長時間利用に対応している『ONEすてつぷ』『あさか』は、どういった形で利用してもらおうのがよいのか。午前利用と午後利用の二部制で受け入れる形で、少しでも利用できる態勢をとりました。『すてつぷ』や『ふぁんだす』では、今まで行っていたクッキングや屋外活動を、どういった対策をすれば行えるのか。法人本部の看護師や管理栄養士に意見や援助をもらいながら対応しました。まだまだこういった状況が続いていくと思いますが、安心して利用して頂けるよう、今後も丁寧に対応していきます。

今年度の各事業の取り組み姿勢についてお伝えします。

ONEすてつぷは、個々の目標設定の中で、いろいろな活動を行い、『楽しい』『もっとやりたい！』



相談支援センター風ぐるま

管理者 藤井 祥普



春を迎え新しい年度になり、生活スタイルや身近な人間関係が変わること

不安や期待など日々の中で色んな変化があるのではないのでしょうか。ご本人・ご家族のそういった思いを聞きながら、みなさんの活動参加や支援者との関わりが円滑に進んで行けるように、お手伝いをさせていただきます。計画相談という「福祉サービスを利用するために必要だから」「相談員をつけてください」と言われたから」と突然言われて始まったというイメージがあるかもしれません。福祉サービスの利用を一緒に考えさせて頂くことはもちろんですが定期的なモニタリングを通してご本人・ご家族とお話をさせて頂きながら「この手続きはどうするんだらう？」「こんなことをしてみたいんだけど」「将来の生活や仕事の事が知りたい」など、その時々

の思いをお聞きしながら一緒に考えていきたいと思っています。今年度の風ぐるまの重点目標ですが、①八〇・五〇問題として同居家族の高齢化から生活スタイルの変化や生活の見直しが必要なが増えているため、今後の方



事務局

事務局 山本 由紀子



このたび、事務局長の職に任命されました山本由紀子と申します。私は平成十五年に本会へ入職し事務局業務を遂行して参りました。前任の田中事務局長は、利用者さんの暮らしの場である施設整備を推進することにも法人全体の窓口として長年尽力されましたが、このたびあゆみ苑成人養施設長として引続き法人を牽引されることとなりました。

事務局はあゆみ苑成人養内にある本部と併設に拠点があり、本部には法人全体の運営基盤となる業務が集中しています。その業務は多岐にわたりますが、何を

しているかということはありません。個人的には、建物でいうところの地下にある基礎の役割に似ていると感じています。利用者さんへの福祉サービスの安定的な提供と新たなサービスの創造のため、小さなほころびや緩み

が影響を及ぼすことのないよう定型業務を適正に処理するのは勿論のこと、法人運営や報酬改定、利用者さんやスタッフに係る法律などの改正や運用についてこの解釈は正しいのだろうか？運用は誤っていないだろうか？ということを念頭に置いて事務局スタッフ



さくら 新年会

今回のさくらのイベントのプログラムは一本だて。まず、午前中に行われたのは「ドライブラリー大会」です。小グループに分かれて車に乗り、みんなで力を合わせて出題されている任務をクリアしながら目的地を経由し、ゴールを目指すという野外のゲームです。当日は天候にも恵まれ、絶好のドライブレンド。スタンプを集めたり、野外で面白いポーズの写真を撮ったり、大興奮でした。そして、午後からは「さくらのど自慢グランプリ」が開催されました。十七人の自慢の喉を有する勇士達がそれぞれの十八番をもって美声を響かせ競いました。観客も一緒にリズムにのったり、ヤジをとったり、とても盛り上がりました！もちろん、感染症対策は万全です。「ドライブラリー大会」と「さくらのど自慢グランプリ」の二つのイベントにより、さくらの親睦がより深まり新年を迎えることができましたので、これを『親年会』と呼ばせていただきます。



●中央競馬馬主社会福祉財団様より車両を寄贈いただきました。

中央競馬馬主社会福祉財団様より「令和一年度施設整備等助成金」を受け、さくらびに「トヨタハイエースバンウエルキャブ」がやってきました。新しい車両を寄贈いただいたおかげで、車いす利用の方、足元の不自由な方等、障がいの重い利用者の方々に、短時間の効率的な送迎ができるようになりました。ありがとうございました。





新

人

紹

介



福山六方学園



小川 りお

4月から新人として、福山六方学園で働かせていただくことになりました。小川りおです。福山市立大学の保育コースで4年間、子どもについて、またその他たくさん学んできたこと、実際に福山六方学園で実習をさせていただいて経験したことを活かして、利用者さんにとってより良い支援ができるようにがんばりたいです。分からないことばかりでご迷惑をおかけすると思いますが、これからよろしくお願いします。



富谷 真実子

この度、福山六方学園で働かせていただくことになりました。最初は慣れないことが多く、緊張や不安でいっぱいだと思いますが、分からないことは先輩に聞いて積極的に行動できる人になりたいです。利用者との信頼関係はもちろん、職員の方との関わりも大切に、楽しく充実した環境で仕事ができればいいなと思っています。どうぞよろしくお願いします。

ONE-すてっぷ



岡田 里菜

令和三年度、新任職員の岡田里菜です。配属先は、ONE-すてっぷです。私は、体を動かして遊ぶことが好きなのでたくさんの方と遊ぶことで仲を深めていきたいです。これから始まる新しい生活にわくわくする反面、不安な気持ちでいっぱいですが、一生懸命頑張りたいです！私の将来の夢でもある障害がある子ども達と関わる仕事がしたいということを実現することができ、とても嬉しく思っています！子ども達と笑顔で過ごし自分自身も成長していきたいです！よろしくお願いします。

今年からONE-すてっぷでお世話になります。川崎医療福祉大学から来ました、佐藤翔です。大学では、臨床心理学を学んでいたのですが、身体的な支援だけでなく、心理的なサポートもできたらいいなと思います。不慣れな所も多くご迷惑をかけると思いますが、よろしくお願いします。



佐藤 翔

ありがとうございました (2021.1.1~2021.3.31)

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。
(敬称略・順不同)
*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

ご寄贈

- ・福山六方学園を支える会 ・関係者2名
- ・福山六方学園家族会

実習生・交流

保育士	3月1日～10日間	福山平成大学	1名
	3月20日～10日間	広島文化学園短期大学	2名

今後の予定

※コロナウィルスの影響により、行事が中止となっております。



N

e

w

F

a

c

e



あゆみ苑成人寮



金口 歩

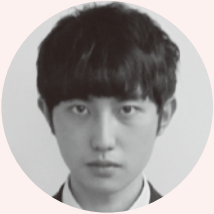
この度、あゆみ苑成人寮に配属となりました、金口です。
今まで学んできたことを活かしつつ、分からないことは先輩方に質問するなどしながら、一生懸命頑張りたいと思います。最初は慣れることに精一杯になり、ご迷惑をおかけしてしまうことが多いと思いますが、一つひとつの物事を丁寧にこなし、しっかりと身に着けていきたいです。そして今後の支援につなげていきたいと思います。また、利用されている方々とたくさん関わる中で、一人ひとりの個性を知り、信頼関係を深めていきたいです。よろしくお願いします。



西岡 璃子

今年度からあゆみ苑成人寮で働かせていただくことになりました。西岡です。仕事で分からないことは積極的に聞き、少しでも早く必要なことを身につけていきたいと思っています。利用される方々とたくさん関わり、一人ひとりについて知っていけたらと思います。支援者として、少しずつレベルアップできるように頑張ります。ご迷惑をおかけすることがあると思いますがどうぞよろしくお願いします。

今年度4月より配属させていただくこととなりました。昨今少なくなってはきましたが、コロナウィルスはまだ蔓延しております。手指消毒の徹底と三密を極力避けて日々生活しており、検査は無事陰性となりました。これからもWithコロナの生活が続いていくと思われます。これを皆様と一緒に乗り越えられるよう精進して参りますので、何卒よろしくお願いします。
何かと至らぬ事ばかりではありますが、まずは人と関わるうえで念頭に置いている「傾聴」に焦点を当て、利用者の方・職員の方との交流を深めていきたい所存です。



杉原 由樹

さわらび



谷本 達哉

今年度からさわらびで働くことになりました谷本です。支援者として、利用者の方の気持ちを一番に考え、安心して過ごして頂けるように支援をしたいと考えております。仕事の中で分からない事は積極的に先輩職員に聞き、少しでも利用者の方に必要とされる支援者になれるように、常に努力しながら力をつけていきたいと思っています。

さわらびの職員の方々、そして利用者の方と出会えたことに感謝しながら、日々精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

サポートセンターひびきの家

以前こども園で4年間働いていました。新しい環境でドキドキしていますが、先輩職員の方に積極的に質問をし、自分のスキルアップにつなげ、そして、利用者の方との信頼関係も築いていけたらなと思います。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします。



栗田 真奈美

